

研究力実的济经の逸独

特 250

156

ドイツの模範工場



三〇錢

第四輯

局版出社刊旬獨日

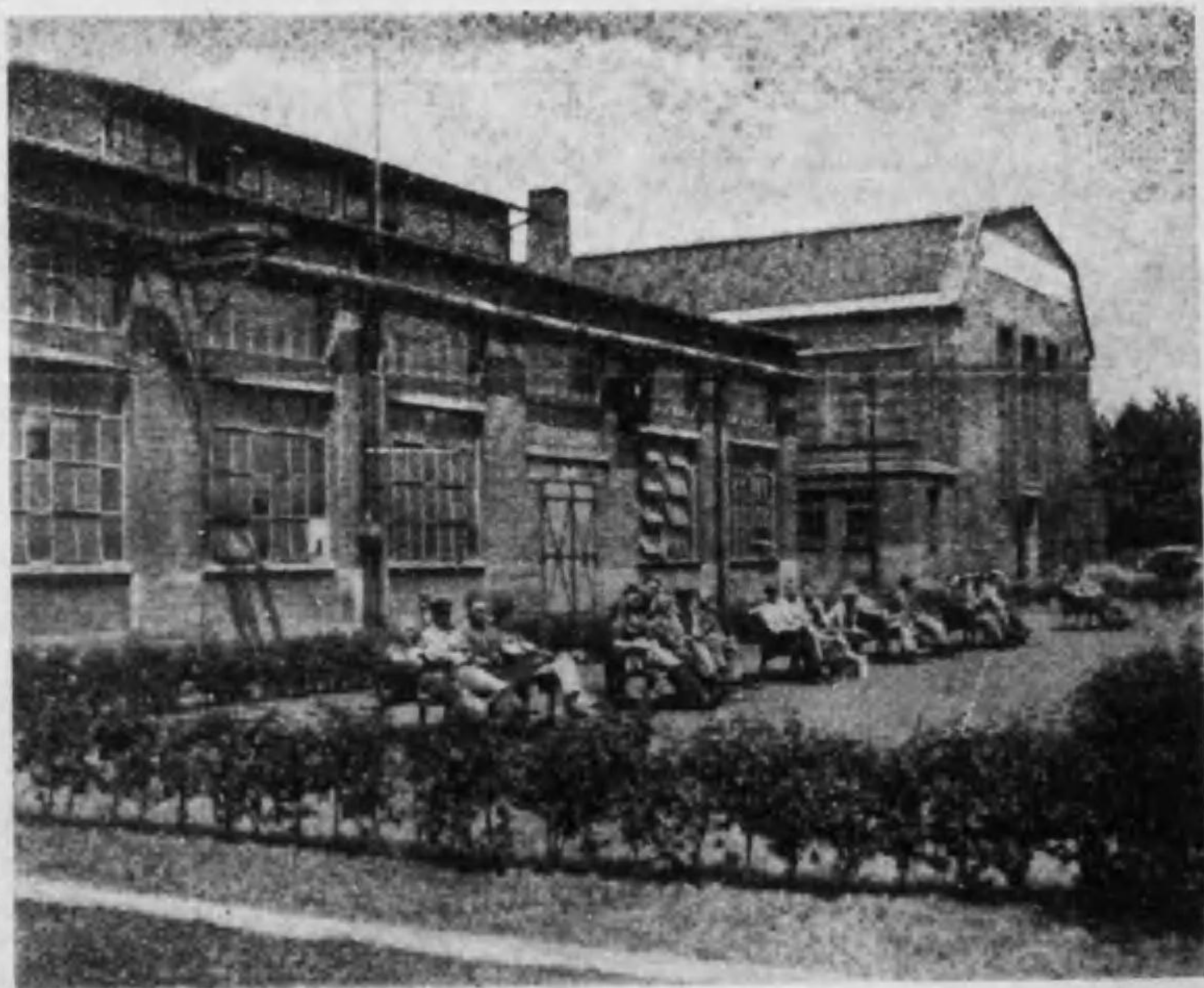
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

始





〔説明〕 この明るい清潔な教育工場で未来の熟練工が養成される。



〔説明〕 工場建物の真中に作られてゐる緑地、労働者は休憩時間をこゝで過ごす。

衛生的洗面所



快適な建築の宿舎



〔説明〕

工場食堂の食事は安くて
美味しく温かい。食堂は
家庭的なので味は又格別

特250
156

獨逸の經濟的實力研究叢書（第四輯）

獨逸の模範工場

日獨旬刊社出版局



獨逸の模範工場 目次

- 一、ナチス模範工場とは何か……………一
- 二、ナチス模範工場には何が要求されるか……………一六
- 三、模範工場は如何なる業績を収めたか……………二七

一、ナチス模範工場とは何か

祭日に獨逸の町々が旗で飾られ、ハーケンクロイツ旗が凡ての街路にはた
めく時、一際目立つた華麗な意匠によつて人目を惹く旗が一本他の旗よりも
高く工場に立てられてゐるのを彼方此方で見かける。燦然たる金色は黒、白
赤の旗の色から誇らしげに抜け出で、旗が風にはためき、金色が陽に輝くの
を見れば、ハーケンクロイツの圍りを圍んだこの巾広い金色の齒車は或る特
別な意義を有してゐるに違ひないといふことが容易に知られる。ではこの旗
は一體何であらうか。これに對する回答を求めて工場建物の正面に沿うて視
線に移せば、一つの黒い楯に吸ひつけられる。この楯は鑄鐵で出來て居り、
記念額の如く莊麗な氣品の高いもので、その上に餘り派手でない程よい文字
で、

“Nationalsozialistischer Musterbetrieb” (ナチス模範工場)

と書かれてゐる。

模範工場なる概念を穿鑿してゐる間に、近代技術の凡ゆる驚異を擁した大工場の姿が浮ぶ。「この工場には一方に於て原料が流れ込み、他方に於てはそこから商品が完全に包装されて出て来る。そしてこれが皆非常に早く、數限りなく、又その価格は嘘の様に低廉であり、そして、——之は工場にとつて最も重要と思はれる——企業家に對し全く嘶の様な利潤を齎らすのである」技術に眩惑された多くの人の眼には「模範工場」といふものは大體以上の様に映じた。

獨逸人でも表面的な觀察者は最初はかゝる技術的に完全な模範工場を思ひ浮べたが、直ぐに、かゝる現象は「ナチス模範工場」なる稱號をうけるに値しない。その解釋はむしろ政治的なものに求めらるべきだと獨語し、次いで彼はこの工場を以て政治的宣傳に極めて重要な細胞なりと考へたが、それは中途半端である。何となればそれだけではまだ不十分だからである。

外國人の解釋は更に惡意に満ち、彼等は「ナチス模範工場」を目して、出来るだけの犠牲を拂つて、可能だらうが不可能だらうが、健康や人間性などにお構ひなく凡てのものを労働者から搾取する所の「ナチの骨粉製造所」なりとした。

かゝる解釋は皆邪道である。獨逸の模範工場はなるほど技術的、専門的に時代の最高峰ではあるが、技術化された機械のみの工場ではない。模範工場はなるほどナチス世界觀の生きた細胞ではあるが、労働よりも演説の多い宣傳の演壇ではない。結局「ナチス模範工場」は骨粉製造所でも搾取機關でもなく、正反對に、その模範的な人間保護と人間指導に基づく「模範工場」に他ならないのである。何となれば獨逸のナチス模範工場に於て重要視されるのは機械ではなく、労働の支柱としての人間であり、人間労働力の維持、増進の爲に凡ゆる配慮、保護が捧げられてゐるからである。

ナチス模範工場を理解するには、ナチスの經濟政策、労働政策、社會政策

の根本原則、特に「最善の社會政策は最善の經濟政策なり」といふ極めて適切な基本命題から出發しなければならぬ。即ちこの模範工場の表彰は第一に社會政策的表彰であり、このことは抑々誤れる純經濟的解釋から模範工場を救ふのである。かゝるナチス模範工場がかくて必然的に、經濟的にも勞働の點からも模範的な工場なることは、近年のナチス經濟實際家、社會政策實際家にとつて經驗によつて證明された自明の現象である。

獨逸の模範工場——それは必ずしも、他の點で模範的な、世界的に有名な工場の名と一致するとは限らない——を一瞥すれば、獨逸の社會政策の具象的な一章が得られる。何となればこの一章はそのまゝ實踐に移され、創造的革命的な社會政策の生成の湧き立つ蒸溜器、經濟生活に於ける思ひもよらぬ眺望を有する全く新しき時代の温床に導入されてゐるからである。

故に今我々が、甚だ簡單なのは残念であるが、ナチス模範工場を検討し、獨逸に於て既に確固たる制度となつてゐる「工場競争」——模範工場はこれ

によつて作り出される——を知るならば、我々は、實踐によつて生れ、従つて又實踐に對し見事な成果を熟さしめ得た社會政策の一端を知ることが出来る。獨逸勞働戦線の創立者ライ博士は曾て次の如き適切な言を吐いてゐる。「獨逸工場競争は極めて偉大にして世界の社會史上未曾有のものであり、我々自身も今日漸くその社會政策、經濟の分野に於ける効果を知り得たのである。」

續いて彼は次の様に強調してゐる。

「その間獨逸の經濟力が空前の大をなしたこと及びこの巨大な生産増加にも拘らず人間勞働力の如何なる搾取をも避け得たといふことによつて、既に、今日までに達成された成果の偉大さを知ることが出来る。」

この言葉によつて最初外國に於て全く知られなかつた獨逸國民の能力が明らかとなる。この能力が展開、集中されて、強力な敵國に對するナチス獨逸の勝利を保證した力となつたのである。

さて依然として獨逸の勝利の原因を歐洲に求め、それにより屢々誤解と誤つた結論に達する——それは自分の損である——徒輩に對し我々は次の言葉を呈しよう。即ち獨逸の勝利は技術の能力、物質、原料のみによつて齎らされたのではない。これら凡てのものを以てしても、若し「獨逸社會主義」なかりせば不可能だつたであらう。——獨逸社會主義の精神はナチス模範工場に最もよく具現されて居るが、而かも大なり小なりの障害を有する凡ての獨逸の工場に於て發現されてゐる——この獨逸社會主義が勝利を保證したのである。

「獨逸工場競争」は一九三六年八月二十九日の總統令によつて首唱され、總統は本令に於て「ナチス模範工場」と「金色の旗」の稱號を制定した。總統令はその追求する目的と本制度の本質を明らかにしてゐるから、その全文を知る必要がある。その全文は左の如くである。

國民勞働秩序法及び獨逸勞働戦線の精神に於て、工場指導者及びその従業員により、ナチス工場協同體の思想を最も完全に實現せる工場は「ナチス模範工場」の表彰を受けることを得。

表彰は予或は予の任命せる獨逸勞働戦線の機關に於て之を行ふ。表彰の有効期間は一年にして二回以上行ふことを得。その條件消滅する時は表彰は取消さる。表彰は獨逸の祭日に之を行ひ、工場指導者に表彰狀を傳達するものとす。

表彰狀には表彰の理由を明記すべし。「ナチス模範工場」の表彰をうけたる工場は金色の齒輪と金色の總を附したる獨逸勞働戦線旗を掲ぐる權利を有す。本令は即時之を施行す。

一九三六年八月二十九日

ミュンヘンにて

署名 アードルフ・ヒトラー

右總統令により、評價の基準が経済的なもの及び技術的なものに非ずして専らナチス工場協同體の發展如何が問題なることが明らかとなる。之は明らかに社會政策的法令であり、社會的利害の爲の闘争である。その目的とする所は明らかに國民勞働秩序法の趣旨であり、獨逸勞働戰線の精神を念としてゐるのである。表彰が獨逸の國祭日五月一日に行はれるといふ事實もこの行爲の社會政策的意義を強調するものである。獨逸經濟の成果、安定、能力は社會政策の健全な基礎の上に樹立される。

獨逸勞働戰線は社會政策の大機關として法令に定められた理念の組織化を使命としてゐる。今や獨逸の工場内に於て實際にも評價を健全な基礎に置かんと努力から「獨逸工場競争」が制定され「ナチス模範工場」の表彰をうけようとする工場は皆これに参加するのである。最も廣範圍に亘つて選擇する爲に非常に多數の工場を「工場競争」に参加せしめる様留意される。「我等共に進む」といふスローガンの下に、原則的に凡ゆる工場の参加が認められ

た。即ち先づ善良なる意志が認められたのである。意志があれば道が通ずるといふ論結は裏切られなかつた。参加工場が一舉に「金色の旗」を獲得出来ないのは當然であるが、數年かゝつてもこれを獲得出来ない工場があるかもしれないから、かゝる参加工場をして意氣沮喪せしめない爲に各管區の賞狀の形式の中間表彰及び各特別地區の成績表彰の制度が設けられた。

競争思想は勞働生活に移されて既に職業競争に於て見事な効果を擧げた。これは個人の職業能力、専門能力の測定で、幾十萬の能率を覺醒せしめることが出来たのであつた。「獨逸工場競争」は異つた分野に於て同様な成果を収めることが出来た。

既に第一年に於て申込んだ工場は無數で、その後毎年増加し、今日では、小は職工一人の工場から大は世界的な大工場に至るまで、殆んど獨逸の全經濟がこの社會政策的大競争に参加してゐる。

「ナチス模範工場」の表彰をうけるのは容易でない。又「金色の旗」は只

贈與されるのではない。「工場競争」に参加した獨逸の工場の數は非常に多いにも拘らず、今日まで「模範工場」の表彰をうけた工場の數は割合に少なく全部で三百足らずである。然しこの嚴選のうちこそ價值があるのである。何となれば、飾り物、見世物的に澤山の通り一遍の表彰が行はれて表彰の價値が低下する時は、達成すべき目的は價值を失ふからである。勿論我々は金色の旗や稱號を欲するのではなく、全部の工場が多くの試験を通過し、社會政策の試煉に見事にパスすることを欲するのである。

かゝる獨逸の模範工場に課せられるのは、社會政策的見地から見ても極めて高度の評價原則である。獨逸の全經濟に比し模範工場の數は割合少いではないかとあら探しをする者があるかもしれないが、それは極めて高度の、殆んど將來の希望的標準を以て評價される爲である。既に強調した如く世界の社會史上空前のこの社會政策行爲の眞の成果はしかし決して「ナチス模範工場」といふ仕上品ではなく、幾千の工場がかゝる模範工場たらんとして努力する

といふ事實である。この努力によつて獨逸の工場に如何に力が呼び醒されたかは測り知ることが出来ない。最も小さな工場の仕事場の中まで最も廣い戦線に亘つて社會政策活動が記録され、それは全獨逸の社會政策に最も効果的な影響を及ぼし、遂には獨逸經濟界の力を大いに強化した。社會政策活動の擴大が行はれた。而してこの「工場競争」によつて生ずる副産物は最後の目標よりも更に重要と見らるべきである。何となればそれは否定し去り得ない現實だからである。二、三の見せる爲の見世物工場を作ることには十分な銀行預金を持つて居る者、或はこの目的の爲に政府の補助金が與へられるならば誰でも出来る。しかしこの恩恵に與かる労働者は常に僅かである。しかし勤勞大衆のうち大部分は中小工場に働いてゐるのだといふ事實を知つて始めて次のことは明らかとなる。即ち社會政策措置は、この中小工場の廣汎な層に浸潤する時のみ價值があるのだといふことである。而してこれこそ工場競争に於て實現されるのである。イニシアチヴは工場指導者と従業員の手

委ねられて居り、機械的な法律や命令によつて皮相的な處置などが講ぜられるのではなく、社會政策の成果は之を工場の施設、能力、特殊性から發生せしめなければならぬのである。今や三ヶ年の實踐によつて十分證明済みのこの方法によつて、多くの成果を收めたが、報告し得るのは一部に過ぎない。

國民勞働秩序法に於ては階級闘争といふ舊概念が除去され、工場協同體の思想が之に代つた。工場指導者と従業員は等しくその實現に努めなければならぬ。ナチスが意圖し、その實現に努めてゐる如き生きた工場協同體は性格の問題である。人々はその心構へ、行爲によつて眞の意味に於ける模範工場を作るのであり、それは自由主義的種類の企業家のタイプとは全然異つて居る。かゝる工場指導者が如何なる思想によつて指導されてゐるかは、總統のナチスの或る模範工場の表彰状によつて之を知ることが出來、この表彰状のうち、以て工場協同體が形成される所の觀念を瞥見することが出来る。

それには左の如く記されてゐる。

一、工場指導者は凡ての點に於て従業員の模範たるべし。模範は百の規則に優る。故にその影響も無限なり。然れどもこれにより工場指導者がその従業員に對し自己の地位を主張するは誤りにして、工場指導者は人格の優越を以て對處すべきなり。工場指導者は有能なる者に私淑され、勤勉なる者が之に認められんことに努め、その行爲が他の規準となり、その名が尊敬を以て呼ばれ、眞面目なる人々の證人となる時始めて模範たり。

二、工場指導者の權利はその責任なり。この責任を回避する時は工場指導者はその地位を失ふ。

三、工場指導者は従業員の眼が自己に集中せることを忘るべからず。規則に基づく權力は強制に等し。

四、秩序と監督は計畫的勞働の基礎なり。然れども工場指導者は、従業員

どの懇談の時間を持ち、従業員の希望に添ひ得る様自己の事務を配分すべし。

五、従業員の積極的協力なくしては工場指導者は半分の成果を收め得るのみ。その協力者が協力を拒む時は工場指導者はその原因を主として自己に求むべし。協力は信頼の問題なり。責任は有能なる人々に課せらるべし。これによつてその自信は強化さる。

六、工場指導者は従業員の行爲を規定することを以て足れりとせず、むしろ従業員がその労働に理解を持つ様配慮すべし。従業員を計画的に教育し、専門的助言によつて進歩せしめ、以て知識と経験を従業員に傳へることは工場指導者の當然の義務なり。

七、工場指導者は極度の忍耐と克己を必要とす。工場指導者は怒つて叱責し、或は過度に褒めるべからず、叱責褒賞共に適度たるべし。特に褒賞は甘言たるべからず、業績に對する適正なる承認たるべし。

然れども工場指導者は常にその協力者に對しその能力、業績を感謝することを必要とす。凡ての勤勞者には感謝と承認を必要とす。

この工場指導者は課せられた各要求箇條の實行を督つてその文を結んでゐるが、この實行はナチス模範工場にとつて前提條件であり、當然なことなのである。

ナチス工場指導者の指針は、ナチス工場指導の決定的要素が性格、責任感、従業員に對する理解、協力への意志であることを示せばよい。全世界を驚歎せしめた最高の經濟的技術的成績を挙げたのもこれらの要素だつたのである。工場協同體は機械の支配者となり、人間を隸屬から解放し、人間をして物質に勝たしめたが、この工場協同體を作り出したのは正しき人間指導、献身的勞働者保護、工場に於ける同志的結合である。

即ち我々は、模範工場の中心が人間であることを知る。強い指導者人格は

工場を形作るが、従業員特に經營統監、調停者、調停委員等も經營構成に積極的に參加しなければならぬ。

二、ナチス模範經營には何が要求されるか

ナチスの意味に於て模範的で表彰に値する模範工場は純經濟的意味に於ける模範工場の比でないといふことを我々は知つた。

總統令に於て「工場協同體の思想が最も完全に實現されたる」工場が表彰されるとの聲明は既に、何が目的であるかを明らかに強調してゐる。

しかし工場協同體、勤勞同志愛、勤勞協同體の結合は、固苦しい理論で説明したり、寫眞の感板に捉へたり出來るものではない。又かゝる工場協同體實現に必要なものも之を簡單に一定指針としてまとめるとは出來ない。従つて一體ナチス模範工場には何が要求されるかの問題に對しては暗示的な回答しか出來ない。

即ち要求されるものは極めて多い。「完全なる工場協同體の實現」——之が最終目標である——といふ概念には極めて多くの達成すべきものが含まれてゐるのであるから、この目標に向つて努める工場に或る指針を與へることが必要ではなからうか。この爲に獨逸勞働戰線は或る指針を作り、一定の専門分野の爲に基本要求條項を掲げてゐる。この基本要求條項は個人の幸福及び民族協同體の幸福に對する考慮によつて決定されてゐる。この兩者は不可分の相互關係にあり、個人の幸福は協同體の幸福からのみ生れるものであるから、この要求は大抵兩者に跨がつてゐる。この原則は、上層の幸福でなく最も廣汎な國民層の幸福が増進されるべき時常に有效である。而してこれこそナチスの目指すもの、即ち社會的措置の全國民への實際的作用に他ならない。この場合重要なものは、誰でも何時でも出來る或る一時的な見世物的業績ではなく、現實に勤勞獨逸人に作用する効果である。

だからこそ模範工場獎勵に對する監督に當り獨逸勞働戰線の努力の目標は

「社會的」功績、や社會主義の見世物などを作ることではなく、その要求は常に、實際に國力を増進し、維持することを出発点とするのである。

故に最初の瞬間びつくりする様な、又大工場が莫大な金をかけて作った、目につき易い社會的業績も多くは無用なものであるかもしれないが、屢々比較的小さな工場に於て餘り派手でなく協同體に役立つ業績が完成されるものである。これについては新聞にも書かれないが、關係者には最大の影響を及ぼすのである。

今日までに達成された成果の根柢は、獨逸労働戦線が始から人目につく見世物的成功の危険な自欺に陥らず、現實的な民族協同體の業績のみが獎勵され認められた點にある。獨逸の模範工場の多くはこゝから生れたのである。

工場に對する獨逸労働戦線の要求は次の如く極めて簡單に人間的にまとめられてゐる。

労働者の生活意志を強化せよ、工場に對する労働者の關心を呼び醒せ、

彼等の職業的能力を伸ばせ、彼等の健康を増進せよ、彼等の労働の喜びを保て、之が最も美しい意味の社會行爲だ、之によつて君は賢明な、先見の明ある、確實に成功する經濟家となるのだ。かくて君は、我々が「ナチス工場の人間指導」と總括的に名づけてゐる要求を満してゐるのだ。

ナチスの人間指導の本質は特に外國に於て屢々全然曲解されてゐる。甚だしきはその目的を全く逆にするといふ無理解振りである。「ナチスの人間指導」の如き純粹な概念を一種の獨裁的奴隸制度なりとする如きは無理解に非んば専ら惡意からであらう。ナチスの人間指導は健全なる工場經營の新方法に他ならない。又それは最も純粹な人間性の概念に於て頂點に達してゐる。即ち工場指導者がそれである、と。これが眞實である。

模範的な工場指導者なしに模範工場を考へることは出來ない。即ち自ら表彰されようとした企業家は先づ自ら導き、自己教育の任務を果さなければな

らなかつたのである。企業家にとつて最高原則は、協同體——即ち彼の工場——に與へ得るだけしかこの協同體に求めることは出来ない、といふことではない。企業家の所爲は悉くその工場協同體の幸福に對する配慮によつて左右されなければならない。これは労働秩序法中にさへ定められた基本要件である。即ち「工場の指導者は従業員の幸福につき配慮すべし」(労働秩序法第二章第二條)。即ち工場指導者の保護義務は最も重要で、従業員の忠誠義務に先んじ、協同體が榮えようとするれば、先づ第一に果すべき義務なのである。

然しながら最も優れた工場指導者と雖も、若し従業員が協力を拒めば失敗せざるを得ないであらう。工場の社會政策運動に於ては従業員は大きな決定要素の一つである。色々な事業に對し從屬者は直接の關係があり、模範工場の發生過程はその積極的關心によつて促進されるのである。工場の出來事に對する責任感及びそれに對する参加は従業員に基づくこと非常に強く、工場

に息を吹き込むのは従業員の労働の喜びである。従つて特に知つたか振りの社會理論家が外ならぬこの自由意志を有する新しいタイプの勤勞獨逸人を以て一種の新しき奴隸なりと稱してゐるのは實に笑止である。

獨逸の經濟及び社會政策上の成果は、誇りと自覺を以て働き得る——その基礎が與へられたるが故に——人間に基づくものである。

全體として如何に工場が判定されるかは各部門が之をなし、各部門に對しては左の如く特別の中間成績賞が制定されてゐる。

- 一、模範的職業教育
- 一、國民衛生に對する模範的配慮
- 一、模範的寄宿舎、住宅
- 一、喜びによる力の模範的増進
- 及び成績徽章として、
- 一、模範的小工場

模範的な工場は後進者に對しては、後進をその専門の最高熟練者に仕上げ以てその將來の發達の基礎を與へる眞の職業教育所でなければならぬ。しかし教育は片寄らないで全體の人間を包含しなければならぬ。教育係長は職業教育所の精神と眞價を決定する。徒弟制度の悪用は皆抑止される。徒弟は最早や搾取されず、立派な職業教育を終了する。實際の職業労働は理論的完成によつて始められる。教育工場は自由に使用に供され、模範的な設備を有する。教育補助金、休暇、手當が支給され、一定の労働期間が嚴守される。授業料、食費は最早や徒弟からは徴收されない。教育期間終了後徒弟は引續き工場に於て働くことになつてゐる。室内労働に對しては模範的な秩序と清潔が保たれ、採光暖房、換氣は申分がない。衛生設備が如何なる試験にも合格することは勿論である。次に國民衛生に對する模範的配慮は次の如くである。

工場は確實な工場醫によつて常に保護され、工場指導者は實際にこの仕事を支持する。衛生に害ある設備は皆取除かれる。第一の仕事として有效な設備が施される。事故、職業疾患防止の處置は皆法律で定められた最低規定以上に實施される。従業員をより健康ならしめ、喜ばせ、その能力を高めるに適した設備は悉く施される。病氣の際は従業員は法律の規定以上に引續き賃銀を支拂はれ或は病氣の間賃銀と醫療費の差額が支拂はれる。病氣の場合法定の休暇以上に休暇が與へられる。鑛山労働者、特に婦人及び少年労働者は過剩労働負擔から保護される。婦人及び少年労働者の使用は勿論その自然的體力に相應しなければならぬ。婦人及び少年労働者にはその労働を軽減する處置が講ぜられ、老人、虛弱労働者等に對しては特別な考慮が拂はれる。戦傷病者及び病氣恢復期の者に對しては特別の職場が作られる。休憩時間、労働時間は理性的に定められ、運動場、體操室、水泳場が設けらる、工場内には又温い食事を與へる食堂が設けられる。

模範的な工場は法律の規定以上に年功補助金、養老年金を支拂ふ。

子供の多い家族には家族手当が支給され、その他普通住宅支給、住宅營團建設、幼稚園、緑地、遊戯場、浴場等の設備によつて助長される。

仕事場は凡ての點に於て模範的に作られ、清潔と秩序が保たれ、優れた採光設備によつて仕事場は明るく、室は通風がよくなければならぬ。特に危険な仕事は出来るだけ避け、保護手段が講ぜられる。

又目的に適つた仕事服が用意され、凡ゆる保護規定は遵守され、最新の保護施設が施される。衛生上完全な又美學的にも美しい洗面所、浴場、宿泊室、便所が作られてゐる。

次に「模範的寄宿舎、住宅」の方面では従業員健康によい美しい住宅建設の爲に凡ゆる方策が認められる。住居の大きさ、衛生設備、建築状態に對し鋭い注意が拂はれる。工場の任務は仕事に適した住宅の建築、或は住宅建築資金補助にある。工場従業員は通常これに必要な貯金を持つてゐないから

である。工場は又宅地、建築材料の支給保證引受或は現金補助、貸付によつて援助することも出来る。更に又工場は教育、忠告等によつて従業員間に住宅營團思想を喚起し、貯蓄の喜びを鼓吹することも出来る。

「喜びによる力の模範的増進」の効果は工場に於て先づ「労働の美」なる言葉となつて現はれてゐる。労働者はその生活の殆んど半分を工場で過ごし工場は労働者の第二の故郷となつてゐる。そこがきたなく、厭はしく、面白くない様ではない。労働の喜び、眞の協同體の労働は美しく健康な仕事場にのみ生れる。模範的な工場に於て第一に尊重されるのは「工場の美」、「仕事場の美」である。しかし工場協同體はサイレンが鳴ると共に断ち切れてしまふ様な結合ではなく、休日の晩にも従業員は結ばれてゐることを感じなければならぬ。工場協同體は度々一緒に芝居、音楽、展覽會等を見物し、その費用は全部工場がもつ。休憩時間にはラヂオで知られた「工場音樂會」が催され、合唱團が組織され、素人の音樂團、劇團、舞踊團が組織される。獨

逸社會教育事業は定期的夜間講演、講習會、労働者の繪畫、彫刻、バステル寫眞の會、語學講習會等の設立、その他成人教育機關によつて促進される。工場圖書館は最もよく發達してゐる。

體育が奨勵され、工場スポーツが行はれ、その爲に多くの私設工場運動場運動設備が設けられてゐる。

模範的休暇規定はナチスの團體カー・デー・エフ (KdF: Kraft durch Freude) 歡喜力行團の旅行團の趣旨を容れ、又工場は資産の少ない従業員のカー・デー・エフ休暇旅行への参加を補助する。工場は毎年少くとも一回は工場の費用でカー・デー・エフ工場旅行を行ふ。更に又カー・デー・エフ旅費積立も行ふ。

自動車國道及びその他大建設計畫に際しては「労働の美」局の作製した指針に従つて模範的な労働者宿營が設けられ、宿舍に泊る労働者に對しては餘暇善用方策、文化的施設が施される。圖書館、音樂會、演劇、映畫、スポー

ツ)等。

又「模範的小工場」といふ成績徽章が制定されてゐるのは、財力豊富な大工場のみでなく、財力少ない工場も各々協同體促進の爲に適宜の道を進むからである。即ち問題は莫大な資金にあるのではなく、工場指導の精神にあるのだといふことがこゝに現はれてゐる。獨逸労働戦線の判定指針及び業績の各部門に對して作られてゐる要求箇條を一瞥すれば、その目標に於て既に如何なる社會計畫をも凌駕する實際的社會計畫が極めて詳細に樹立されてゐることが知られる。而かもそれは外國の社會計畫とは反對に、夢想的な要求ではなく、この目標は短い年月の工場運動に依つて實現されたのみでなく、遙かにその目標以上のものが實現されたのである。

三、模範的工場は如何なる業績を收めたか

一九三七年五月一日第一回工場競争が宣布された時既に、

八萬四千の工場

が進んで参加申込を行つたことは、ナチス模範工場の計畫が成功したことを示すものであつた。幾百萬の従業員を擁する八萬四千の工場は提出された基本要求箇條に向つて努める用意あることを聲明したのである。このことは工場協同體の素晴らしい積極化、社會思想の全面的前進、而かも一組合事務所の机の抽出中に納つてある覺書ではなく、工場の第一線に於て、直接工場、仕事場、事務所、建築場等經營の第一線に於ける前進を意味したのである。たとへこの八萬四千の工場の各々が擧げた社會的功績は小さくとも、それは社會思想の作用が八萬四千倍になつたのであつて唯一つの優等模範工場に於てのみ行はれたのではないといふことを意味してゐる。

この運動への参加は毎年増加した。即ち

第二回工場競争には

十六萬四千工場

第三回

二十七萬二千七百六十三工場

が参加した。而かも第三回工場競争は戦時中である。

而かも既に第一年に如何に戦線が前進したかは、第一年度に千六百八十三工場が模範的成績を擧げて管區の證書を授與され、二百六十六工場が特別徽章を授與されたといふ事實によつて證明される。非常な嚴選にも拘らず既に第一年にヒトラー總統から「ナチス模範工場」の表彰をうけた工場は百三工場に達した。

現在は二百九十七工場が金色の旗を掲げてゐる。この數は一見少ない様であるが、その背後には二十七萬二千七百六十三工場が社會的業績を目指して同じ様に努力してゐることを考へなければならぬ。今日までにライ博士の制定した成績徽章を授けられた工場は二千九百二十三、大管區長官から大管區賞状を授與された工場は五千四百三十四に達してゐる。これだけの數の工場の擧げた業績は到底測り知ることが出来ない。

開戦前の調査——これは工場競争参加工場のうち五萬の工場に就いて調査

したに過ぎない——に基づく多くの数字のうちその一部を次に挙げよう。

職業教育に關しては四千八百五十箇所の教育工場及び養成所、千百八十一箇所の作業學校が設立され、三千八百九工場に於ては勤勉な素質の良い徒弟は成績に應じて教育期間を短縮され、規定より早く、一人前の労働者として生産過程に編入された。千百二十一ヶ所の轉業訓練所では適當な人々が一人前の専門労働者に再教育された。工場競争に参加した工場のうち一萬四千工場は合計七萬人に給費或はその他の方法によつて再教育を行ひ、向上を保證した。工場競争の爲に新らしく二千五百名の工場醫が任命され、保健措置が實施され、四千七百五十二工場に於てこの適用をうけた労働者数は合計六十六萬に達した。三千三百九十の新衛生室が設けられ、これには模範的な衛生器具が備へつけられ、新しく二萬五千八百名の看護人、看護婦が任命され工場醫に協力してゐる。

又新設を届出でた工場スポーツ團體は四千五百五十九に達し、千二百五十

の工場附屬運動場が新設され、工場スポーツ教師千二百五十名が新らしく任命された。

毎日特別列車、バス運轉により或は自轉車道路開設によつて通勤路の短縮を行つた工場は二千九百七十工場に達したが、かゝる處置が如何に重要であるかは、一管區の次の如き報告が雄辯に之を物語つてゐる。即ちこゝで模範的な成績を挙げた二、三の工場は一労働年度に計二十九萬五千九百六十七労働時間を節約したのである。

又二千二百七十六の工場食堂が新設され、七千四百六十工場に於ては温い食事が支給され、二萬五千九百九十の温食設備が新設された。

「労働の美」の概念に包括される色々な施設、即ち仕事場の清潔、採光、整頓せる更衣場、浴場等の爲に工場の一報告年度支出合計は

二億二千七百萬マール

に達した。健康に適した職場を作つた工場は三萬三千六百三十三に達した。

九千五百四十三のカー・デー・エフ金庫が新設され、カー・デー・エフ旅行マ
ルク制を採用した工場は四千四百に及んだ。二萬七千六百十工場の行つたカ
ー・デー・エフ旅行の數字は以上の様に大きなもので

従業員 四十六萬三千八百名

がその恩恵をうけた。

進歩的社會政策が工場の經濟、採算方面に如何なる影響を及ぼしたかは次
の數字によつて證明されるであらう。これは手當り次第に取り出したもので
ある。

一九三七年或る工場は百キログラムのスフを製造するのに一四・五時間か
ゝつたが、一九三八年にはこの時間は一〇・九に短縮された。又或る工場に
於ては一年一人當り生産高はの次如き激増を示した。

一九三四年 一〇〇〇〇〇キログラム

一九三八年 一六〇〇〇〇

貸銀總額は増大したにも拘らず、製品の販賣價格は五十五マルクから五十マ
ルクに下つた。

織物工場に就て見れば、一九三八年から一九三九年までに染色に於て五バ
ーセント、紡績に於て二〇・八バーセント、織布に於て一四・四バーセント、
仕上げに於て一三・七バーセントといふ大飛躍を示した。

工場指導者は常にその業績増大を工場競争に於ける社會政策の功に歸して
ゐる。これを知れば非社會的工場指導者は經濟的にも全く馬鹿者と見らるべ
きである。

目下の要求は尙工場への婦人の配置を必要としてゐるが、婦人に對する保
護の強化は模範的工場指導者の第一の義務である。右に述べた報告年度に於
て妊婦に對し法定期限内に休暇——貸銀全額が支拂はれることは勿論である
——を與へた工場は五千百七十九、出産手當乃至妊娠手當と貸銀との差額を
支拂つた工場は六千百十五に達し、二百二十三工場は附屬産室を新設した。

婦人保護に關しては、それに経験を有し、婦人労働者の顧問、助言者たる「社會的工場婦人監督」を任命した工場が九百七十二、結婚希望者に補助金を與へた工場一萬五千七十四、出産に際し産衣を贈呈した工場一萬五千二百六十一、子供の多い家族に特別手當を支拂つてゐる工場七千六百四十七に達してゐる。

住宅營團計畫は既に工場競争第一年に非常な反響を呼び、二千百の工場が合計二萬九千の住宅建築を行つた。國防の安全の爲に必要となつたジークフリード線構築の爲、一九三八年度は住宅建築に十分な労働力を充てる事が出来なかつたが、それにも拘らず千七百三十三工場が二萬四千六百九十二の住宅建築に對し二千百十七萬五千六百五十五マルク支出を即時無條件で保證した。その後最も緊急を要する住宅建築の爲に一定の資材割當が行はれ、一九三九年五月一日までに戸數は五萬七千六百三十七に増大し、之に對し國家に重要な工場から六千萬マルクの金額が徵集された。その他附屬社宅を建てた工場

は二萬九千二百、抵當或は無利子貸付の形で資金を支給した工場は七千八百四十八に達した。工場競争に刺戟されて新式にし或は大改築を行つた古住宅の數は六萬五千に達した。

而かも病人も亦従業員の一名であり共に保護されなければならぬ。一萬七千の工場が給料停止期間を廢止し或は賃銀と醫療費の差額を支給した。年功加俸を支給してゐる工場は合計九千八百三十四、寡婦年金、孤兒年金を支給してゐる工場は五千六百四十八に達する。

以上述べた僅かな數字はこの——最も廣汎を基礎を有するが故に——最も革命的な社會事業を僅か暗示してゐるに過ぎない。要求と實際とは益々一致する。挑まれた今次戦争中も社會運動は續行されて居り、戦争が勝利を以て終る時始めてその全貌を發現し得るであらう。何となれば獨逸はその時始めて世界最大にして最善の社會國家たらんとしてゐるのだからである。自由に幸福な、創造力あり又健全な獨逸労働者は生活を價值あらしめる社會秩

序を創造した。即ちそれは
労働と歡喜の生活
である。

獨逸労働戦線労働科學研究所編
日獨旬刊社調査部譯

昭和十六年十月一日印刷
昭和十六年十月五日發行

獨逸の模範工場
定價三十錢

東京市京橋區銀座四ノ二
(教文館ビル八階)

編輯兼
發行者 池田慶四郎

印刷者 東京市目黒區自由ヶ丘二
渡邊眞春

東京市京橋區銀座四ノ二(教文館ビル八階)

發行所 日獨旬刊社出版局
電話 東京橋三六九三番
振替 東京三四八〇七番

獨逸の經濟的實力研究叢書

近刊豫告!!

第五輯

ドイツの戦時經濟 (十月發賣)

第六輯

ドイツ經濟に恐慌なし (十月發賣)

第七輯

ナチスの黨及國家組織の研究 (十月發賣)

既刊

第一輯	獨逸の新資材及農民政策	税定價六一	錢圓
第二輯	ドイツ物價政策の奇蹟	税定價三〇	錢錢
第三輯	戦時下ドイツの労働奉仕團の活躍	税定價三〇	錢錢

417

終

